

授業科目（ナンバリング）	臨床生理学演習（NE404） （Aクラス）			担当教員	太田 一寿		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>これまでに修得した疾病学系の科目（臨床医学概論、疾病学Ⅰ・Ⅱ、臨床検査学）の内容について演習形式で復習し、疾病・治療学系関連に関する知識の定着を目標とする。また、来たるべき「実務実習」（5年次）に向けて、薬剤師として適切な薬物治療を行うのに必要な各種疾患の成因、病態を部位別・疾患別に理解できるようにする。</p>							①③④⑤⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	(1)各種疾患の成因、病態を説明することができる。(2)各種疾患の治療法、特に薬物治療について説明することができる。				・定期試験	60%	
情報収集、分析力	与えられた課題に対して情報を集め、自己やグループで問題点を分析することができる。				・小テスト	20%	
コミュニケーション力	グループ演習において、SGDによる課題解決に対し積極的に参加できる。				・課題発表	10%	
協働・課題解決力	与えられた課題に対し、グループ内で導き出した結果から病態解析や治療法に関して最善と思われる手段（解答）を導き出す				・課題発表	10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績を60%として筆記試験を行う。また、講義中にポートフォリオを用いた演習問題（小テスト）を課し、その成績を10%の割合で評価する。小テストに関するフィードバックは、授業中に口頭で適宜行う。 ・まとめの回に課す課題について、レポートとして提出するとともに口頭で発表してもらい、その内容、参加態度等について、上記の比率で評価に加える。 							
授業の概要							
<p>教員の配布する問題についての演習と、ポートフォリオを用いた前週の知識確認が主体となる。まとめの回では、それまで行った演習内容に関する課題を実践問題形式で課し、いくつかのグループに分かれてSGDによって解答を導き出してもらう。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：別途プリントを配布する。 参考書：「病気がみえる」シリーズ（医療情報科学研究所）、標準臨床検査医学（第4版：医学書院） 指定図書：ファーマシューティカルノート－疾病と薬物治療学（医学評論社）</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>配布されたプリントや参考書等を利用して予習・復習をしっかりと行うこと。講義プリントはポートフォリオに随時アップ予定である。参考書は図書館や担当教員の部屋にあるので、積極的に利用すること。質問等も大いに歓迎する。試験期間中等特別な場合を除き、在室中はいつでも訪問可能（薬学研究棟：P210 隈、P101 太田）である。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習	到達目標番号*
1	臨床検査	臨床検査の意義、腫瘍マーカー等	臨床検査の意義について復習し理解すること	581-586, 588
2	血液・造血器疾患	血液系、造血器に関する疾患と治療	血液関連疾患の特徴と病態を整理すること	641-645, 719-720
3	循環器系疾患	循環器に関する疾患と治療	循環器(特に心臓)の性質を理解し、疾患・病態を正しく整理すること	635-638
4	消化器系疾患(1)	消化管(食道・胃・小腸・大腸)に関する疾患と治療	管腔器官関連疾患についてまとめ、理解すること	659-660, 664-666
5	消化器系疾患(2)	肝臓、胆のう、膵臓に関する疾患と治療	肝胆膵の役割について理解し、疾患の概要を掴むこと	661-663, 705
6	呼吸器系疾患	呼吸器に関する疾患と治療	特に閉塞性肺疾患について復習すること	655-657, 692
7	まとめ(1)	血液系、循環器系、消化器、呼吸器に関する症例研究	これまでの演習内容を復習しておくこと。	589-590
8	代謝系疾患	代謝系に関する疾患と治療	代謝系疾患について復習すること	669-671
9	内分泌系疾患	内分泌異常に関する疾患と治療	内分泌機能の各役割を整理し、理解すること	672-676
10	免疫・アレルギー疾患	免疫系に関する疾患と治療	免疫学の復習をし、病態について理解すること	621-628
11	骨・皮膚・耳鼻眼疾患	骨・皮膚・眼に関する疾患と治療	配布されたプリントで予習・復習を行うこと。	630-633, 678-684
12	腎疾患	腎臓に関する疾患と治療	腎機能について復習し、疾患と病態を理解すること	647-648
13	生殖器・泌尿器・妊娠	生殖器・泌尿器・妊娠に関する疾患と治療	性差のある疾患をまとめ、病態の違いを理解すること	649-653
14	精神・神経系疾患	精神神経系に関する疾患と治療	精神神経系の各疾患の違いを復習し、治療法などを理解すること	602, 610-613
15	まとめ(2)	代謝・内分泌、免疫系、腎・泌尿器系、及び精神神経系に関する症例研究	これまでの演習内容を復習しておくこと。	589-90
16	定期試験			

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。

授業科目 (ナンバリング)	臨床生理学演習 (NE404) (B クラス)			担当教員	隈 博幸		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	4 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>これまでに修得した疾病学系の科目（臨床医学概論、疾病学Ⅰ・Ⅱ、臨床検査学）の内容について演習形式で復習し、疾病・治療学系関連に関する知識の定着を目標とする。また、来たるべき「実務実習」（5年次）に向けて、薬剤師として適切な薬物治療を行うのに必要な各種疾患の成因、病態を部位別・疾患別に理解できるようにする。</p>							①③④⑤⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	(1)各種疾患の成因、病態を説明することができる。(2)各種疾患の治療法、特に薬物治療について説明することができる。				・定期試験	60%	
情報収集、分析力	与えられた課題に対して情報を集め、自己やグループで問題点を分析することができる。				・小テスト	20%	
コミュニケーション力	グループ演習において、SGDによる課題解決に対し積極的に参加できる。				・課題発表	10%	
協働・課題解決力	与えられた課題に対し、グループ内で導き出した結果から病態解析や治療法に関して最善と思われる手段（解答）を導き出す				・課題発表	10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績を60%として筆記試験を行う。また、講義中にポートフォリオを用いた演習問題（小テスト）を課し、その成績を10%の割合で評価する。小テストに関するフィードバックは、授業中に口頭で適宜行う。 ・まとめの回に課す課題について、レポートとして提出するとともに口頭で発表してもらい、その内容、参加態度等について、上記の比率で評価に加える。 							
授業の概要							
<p>教員の配布する問題についての演習と、ポートフォリオを用いた前週の知識確認が主体となる。まとめの回では、それまで行った演習内容に関する課題を実践問題形式で課し、いくつかのグループに分かれてSGDによって解答を導き出してもらう。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：別途プリントを配布する。 参考書：「病気がみえる」シリーズ（医療情報科学研究所）、標準臨床検査医学（第4版：医学書院） 指定図書：ファーマシューティカルノート－疾病と薬物治療学（医学評論社）</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>配布されたプリントや参考書等を利用して予習・復習をしっかりと行うこと。講義プリントはポートフォリオに随時アップ予定である。参考書は図書館や担当教員の部屋にあるので、積極的に利用すること。質問等も大いに歓迎する。試験期間中等特別な場合を除き、在室中はいつでも訪問可能（薬学研究棟：P210 隈、P101 太田）である。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習	到達目標番号*
1	臨床検査	臨床検査の意義、腫瘍マーカー等	臨床検査の意義について復習し理解すること	581-586, 588
2	血液・造血器疾患	血液系、造血器に関する疾患と治療	血液関連疾患の特徴と病態を整理すること	641-645, 719-720
3	循環器系疾患	循環器に関する疾患と治療	循環器(特に心臓)の性質を理解し、疾患・病態を正しく整理すること	635-638
4	消化器系疾患(1)	消化管(食道・胃・小腸・大腸)に関する疾患と治療	管腔器官関連疾患についてまとめ、理解すること	659-660, 664-666
5	消化器系疾患(2)	肝臓、胆のう、膵臓に関する疾患と治療	肝胆膵の役割について理解し、疾患の概要を掴むこと	661-663, 705
6	呼吸器系疾患	呼吸器に関する疾患と治療	特に閉塞性肺疾患について復習すること	655-657, 692
7	まとめ(1)	血液系、循環器系、消化器、呼吸器に関する症例研究	これまでの演習内容を復習しておくこと。	589-590
8	代謝系疾患	代謝系に関する疾患と治療	代謝系疾患について復習すること	669-671
9	内分泌系疾患	内分泌異常に関する疾患と治療	内分泌機能の各役割を整理し、理解すること	672-676
10	免疫・アレルギー疾患	免疫系に関する疾患と治療	免疫学の復習をし、病態について理解すること	621-628
11	骨・皮膚・耳鼻眼疾患	骨・皮膚・眼に関する疾患と治療	配布されたプリントで予習・復習を行うこと。	630-633, 678-684
12	腎疾患	腎臓に関する疾患と治療	腎機能について復習し、疾患と病態を理解すること	647-648
13	生殖器・泌尿器・妊娠	生殖器・泌尿器・妊娠に関する疾患と治療	性差のある疾患をまとめ、病態の違いを理解すること	649-653
14	精神・神経系疾患	精神神経系に関する疾患と治療	精神神経系の各疾患の違いを復習し、治療法などを理解すること	602, 610-613
15	まとめ(2)	代謝・内分泌、免疫系、腎・泌尿器系、及び精神神経系に関する症例研究	これまでの演習内容を復習しておくこと。	589-90
16	定期試験			

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。